

リ サ イ ク ル 計 画 書 (積算段階)

工事担当者が作成し、設計書に添付

1. 事業（工事）概要

発 注 機 関 名	千葉県南部漁港事務所	工 事 名	富津漁港水産生産基盤整備及び県単漁港整備合併工事(富津地区浚渫)
施 工 場 所	第2種漁港 富津漁港 富津市 富津	工 期 (予 定)	令和8年10月～令和9年3月
工 事 概 要 等	-2.5m泊地浚渫 A=9, 266m ² V=8, 233m ³ -3.0m航路浚渫 A= 114m ² V= 72m ³ 水域外浚渫 A= 835m ² V= 609m ³		

2. 建設資材利用計画

建 設 資 材	① 利 用 量	② 現場内利用量	③ 再生材利用量	④ 新材利用量	⑤ 再生資源利用率 (②+③) / ① × 100	備 考
土 砂	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
砕 石	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト混合物	トン	トン	トン	トン	%	
	トン	トン	トン	トン	%	

※ 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3. 建設副産物搬出計画

指定副産物の種類	⑥ 発 生 量	⑦現場内利用量 (減量化量)	⑧他工事への 搬出量	⑨再資源化施設 への搬出量	⑩ストックヤードへの搬出量	⑪現場内利用率 (⑦/⑥) × 100	⑫有効利用率 (⑦+⑧+⑨+⑩) / ⑥ × 100	備 考
建設発生土								
第1種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
第2種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
第3種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
第4種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
泥土(浚渫土)	8,914 地山m ³	8,914 地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	100 %	100 %	覆砂(指定個所に投入)
合 計	8,914 地山m ³	8,914 地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	100 %	100 %	
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	—	%	%	
アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設発生木材	トン	トン	トン	トン	—	%	%	

※ 建設発生土の区分(既存資料から判断するものとする)

①第1種建設発生土・・・砂、礫及びこれらに準ずるもの。

④第4種建設発生土・・・粘性土及びこれらに準ずるもの。(第3種建設発生土を除く)

②第2種建設発生土・・・砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

⑤泥土(浚渫土)・・・浚渫土のうち概ねq c 2以下のもの。

③第3種建設発生土・・・通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

※ 建設発生木材の中には、伐開除根材及び剪定材を含む。

※ 建設汚泥、建設発生木材の、「⑦現場内利用」の欄には、上段に現場内利用、下段に現場内での減量化量を記入する。

※ 「⑩ストックヤードへの搬出量」には、他工事に再利用されることが予定される場合のみ記入する。

※ 「他工事」には、他機関の公共工事や民間工事も含む。